

SIT002-P02

会場:コンベンションホール

時間:5月27日 14:00-16:30

## アルバニア, ミルディータ・オフィオライト東帯かんらん岩から推測する沈み込み帯初期マグマプロセス

Magmatic processes constrained from peridotites of the Eastern Mirdita ophiolite (Albania): Implications for subduction

森下 知晃<sup>1\*</sup>

Tomoaki Morishita<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 金沢大学

<sup>1</sup> Kanazawa University

アルバニア, ミルディータ・オフィオライト東帯に分布するかんらん岩について検討した。本オフィオライトの火山岩類は, 島弧的的化学的特徴を示す (Dilek et al., 2008 Lithos)。その結果, 中央海嶺的な単純融解によるメルトの形成と抽出を経たかんらん岩類, インコンパティブル元素に富んだ流体フラックスを伴う開放溶融に形成された高枯渇度かんらん岩と, スピネルのCr#の異なる2種類のダナイトで, 主に構成されていることがわかった。これらの観察事実から, 初期島弧のマグマプロセスについて議論する。

キーワード: オフィオライト, かんらん岩, モホ, 島弧

Keywords: ophiolite, peridotite, MOHO, Island Arc